

1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪城音楽堂
施設所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の情操教育及びレクリエーション運動の普及向上を図るため、音楽の演奏その他行事を行うことを目的とする。
業務の概要	大阪城音楽堂の管理運営 大阪城音楽堂の利用案内・受付、要望・苦情対応、音楽堂内施設管理、関係機関との連絡調整など、音楽堂の貸出に関する業務等を実施
成果指標	年間利用件数
数値目標	年間利用件数100件以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体
指定期間	平成27年4月1日～令和13年3月31日
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	年間利用件数	
数値目標	100	
年度実績	70	
達成率	70.0%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	23,315	83,843	-60,528
利用件数	94	98	-4
稼働率	24.4%	34.1%	-9.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	—
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	20,062,995	32,196,492	-6,637,005	新型コロナウイルスの世界的流行によるイベント自粛等に伴う施設利用件数の減
	計画	26,700,000	28,392,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	20,062,995	32,196,492	-6,637,005	
	計画	26,700,000	28,392,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	18,071,149	17,336,194	4,943,149	計画時にスタッフ1名分の人件費が計上漏れによる増
	計画	13,128,000	12,348,000		
物件費	実績	30,247,215	38,960,867	-12,395,785	新型コロナウイルスの世界的流行による事業縮小・業務縮小等
	計画	42,643,000	40,334,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	48,318,364	56,297,061	-7,452,636	
	計画	55,771,000	52,682,000		

(様式 5)

令和2年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用件数100件以上	70.0%	B	新型コロナウイルスの影響による利用件数の減

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、事業縮小、業務縮減等による経費縮減に努めた。	—	新型コロナウイルスの影響により収益が悪化したため、市全体の変動納付金なし

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	施設の管理運営状況について、本市が求める水準に従って維持管理できていた。平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等についても本市が求める管理水準に達していた。
事業計画の実施状況	B	新型コロナウイルスの感染拡大対策として、音楽堂利用時のガイドラインを作成し、施設利用事業者に対する事前確認や調整等を通じて、順守を徹底するなど、安全対策に努めた。 コロナ過におけるイベント自粛の状況を踏まえ、オンライン配信イベントなど、利用団体のニーズに迅速に対応するため、工夫をおこなった。
施設の有効利用	B	大阪城公園全体を指定管理として運営していることから、他施設とも連携し、施設の有効利用に取り組んでいる。 音止め時間の緩和に関連し、地域との連携を丁寧に進めるなど良好な関係を築いている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	職員の人権研修の実施や個人情報その他の文書を適切に管理等計画どおり達成するなど、一定評価できる。

5 利用者ニーズ・満足度等

大阪城公園利用者への満足度調査結果（令和2年10月23日～25日実施） 非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足ではない、不満足の5段階 大阪城音楽堂を含む公園全体の満足度（非常に満足、まあまあ満足）は94.3％で、事業計画時の目標数値85％を上回っており、安定的なサービスが提供できていると考えられる。

6 外部専門家意見

・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者の管理運営状況に対し、適正な評価をし難い状況である。 ・先行きを予測することは難しいが、いわゆる「ウィズコロナ」や「アフターコロナ」といった観点から、事業者が今後の事業計画をどのように組み立てるか、どのように準備を行っていくかについて、十分に調整されたい。特に、国や府の動向を注視し、これに応じた対応を行うこと。 ・主催者やイベントの内容によって異なる場合があると思われるが、事業者側が作成するガイドラインと音楽堂のガイドラインの整合性を精査して、運営する必要がある。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルスの影響で利用件数の減少はあったが、成果指標の70%を達成した。
市費の縮減	—	収支差額が赤字の施設であるが、更なる効果的な運営に向けて、危機管理・安全管理面の設備の更新を行うなど、サービス向上に努めていることは、評価できる。
管理運営の履行状況	B +	事業計画に沿った事業実施が図られているとともに、新型コロナウイルス感染拡大にあたっては、音楽堂独自のガイドラインを作成し、感染防止拡大対策を行うとともに、ネット環境を活用し、ネット配信による利用など、利用事業者に対しての利用促進を図った。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	新型コロナウイルスの影響にもかかわらず、利用者促進に向けたサービスの向上に積極的に取り組み、概ね当初の成果指標の70%を達成している。 また、ネット環境の改善を行った結果、時代に即したネット配信に関して利用者の利便性の向上を図るなど、効果的な運営を行っている点は評価できる。 今後もさらなる利用促進に向け、一層の努力を期待する。